



正 誤 表

『健康・栄養科学シリーズ 生化学』（第1刷）

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
29	図 3-4	〔差し替え〕	<p>ω炭素（末端のメチル炭素）</p> $\text{CH}_3-\text{CH}_2-\text{CH}=\text{CH} \cdots \text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{CH}_2-\text{COOH}$ <p style="text-align: center;"> $n \quad n-1 \quad n-2 \quad n-3 \quad \quad \quad 4 \quad 3 \quad 2 \quad 1$ 炭素の番号 </p>  <p style="text-align: center;">アラキドン酸 (C20 : 4n-6)</p> <p style="text-align: center;">図3-4 脂肪酸の番号の付け方と表記方法</p>
35	図 3-13	〔差し替え〕	 <p style="text-align: center;">コレステロール コレステロールエステル</p> <p style="text-align: center;">図3-13 コレステロールとコレステロールエステル</p>
76	下から 8 行目	非拮抗阻害	非 <u>競合</u> 阻害
124	上から 12 行目	$\text{C}_6\text{H}_{12}\text{O}_6 + 6\text{O}_2 \rightarrow 6\text{CO}_2 + 24\text{H}^+ + 24\text{e}^-$	$\text{C}_6\text{H}_{12}\text{O}_6 + \underline{3}\text{O}_2 \rightarrow 6\text{CO}_2 + \underline{12}\text{H}^+ + \underline{12}\text{e}^-$
124	上から 14 行目	$6\text{O}_2 + 24\text{H}^+ + 24\text{e}^-$	$\underline{3}\text{O}_2 + \underline{12}\text{H}^+ + \underline{12}\text{e}^- \rightarrow \underline{6}\text{H}_2\text{O}$

		→ 12H ₂ O	
127	上から 2 行目	プロテインキナーゼ C	プロテインキナーゼA
127	図 11-3	[差し替え]	<p>図11-3 脱共役タンパク質の働き</p>

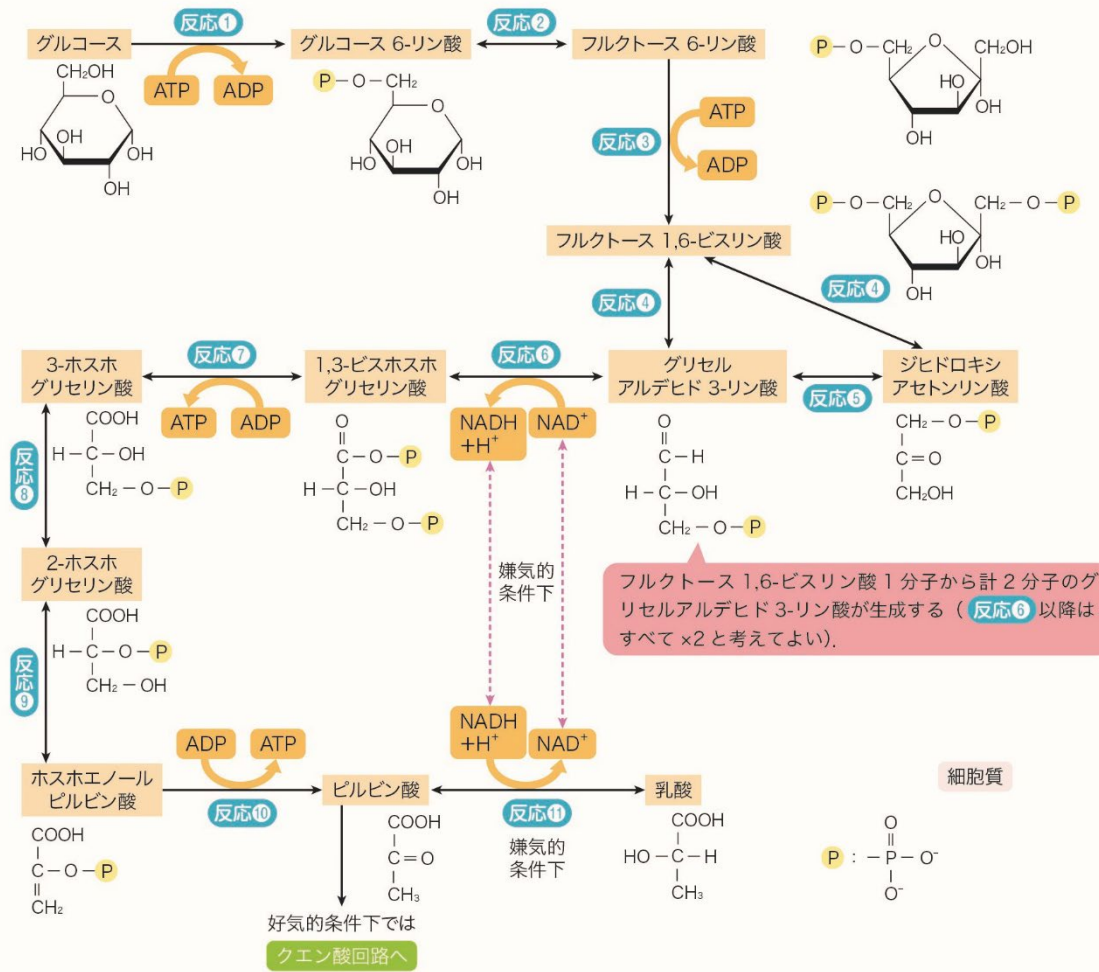
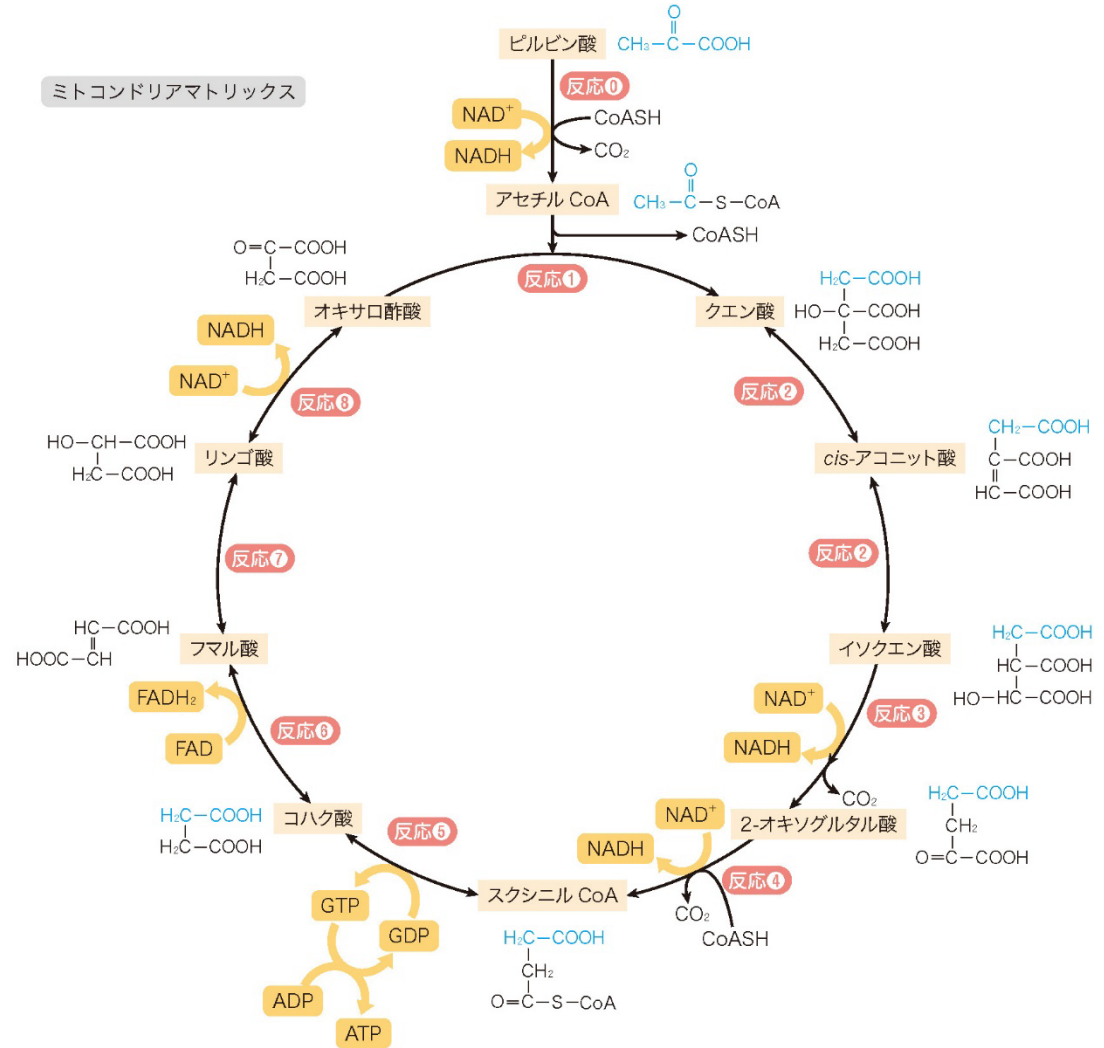


図12-1 解糖系

139

図 12-3

[差し替え]



140

反応⑤～⑧の下

(不可逆)

—(不可逆)— ※削除

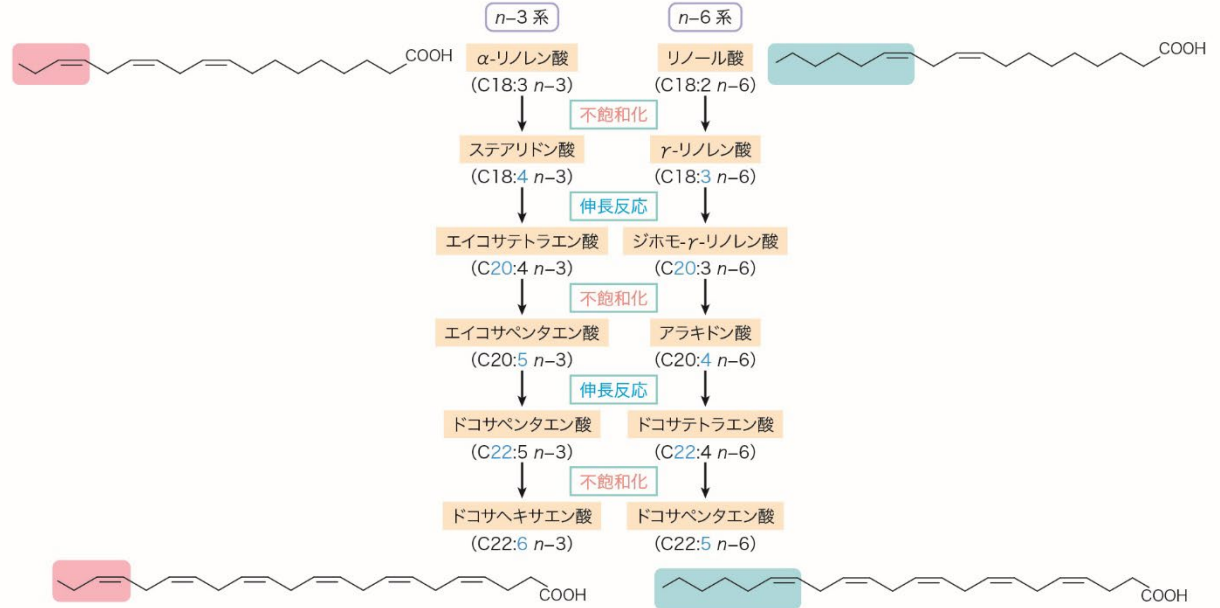


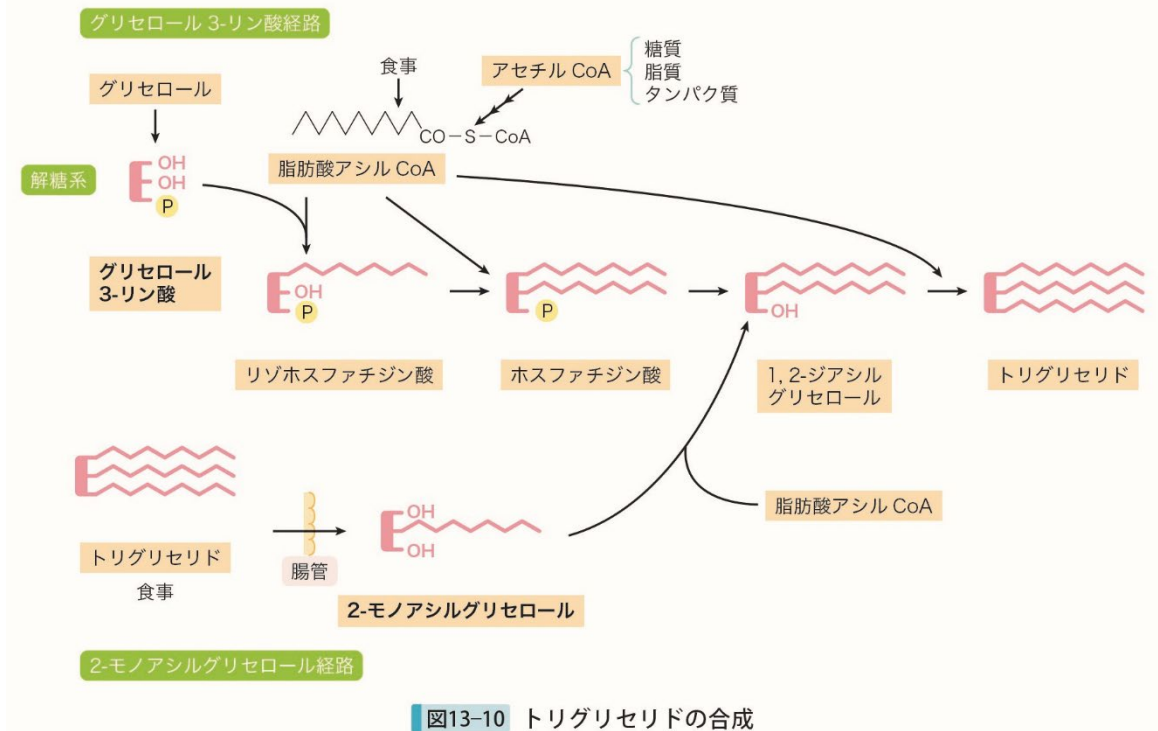
図13-9 多価不飽和脂肪酸の合成

(健康・栄養科学シリーズ 生化学—人体の構造と機能及び疾病の成り立ち, 南江堂, 2019)

169

図 13-10

〔差し替え〕



180

表 13-1

〔差し替え〕

表13-1 リポタンパク質の種類と特徴

リポタンパク質	密度 (g / mL)	直径 (nm)	成分組成 (重量%)				
			トリグリセリド	リン脂質	コレステロール	タンパク質	主なアポリポタンパク質
キロミクロン	< 0.95	> 70	86	7	5	2	B-48, C-II, E
VLDL	0.95~1.006	30~90	50	20	22	8	B-100, C-II, E
LDL	1.019~1.063	22~28	10	22	48	20	B-100
HDL	1.063~1.210	5~12	8	22	20	50	A-I, A-II, E

191	図 14-5	〔差し替え〕	<p>図14-5 アミノ酸炭素骨格代謝の概要</p> <p>太字は不可欠アミノ酸。 <small>(健康・栄養科学シリーズ 生化学 ー人体の構造と機能及び疾病の成り立ち, 南江堂, 2019)</small></p>
194	上から 1 行目	バリン)	バリン, <u>トレオニン</u>)

200	図 14-9	〔差し替え〕	<p>図14-9 メチオニン代謝とホモシスチン尿症</p>
260	下から 6 行目	(252 頁).	(254 頁).

2023 年 8 月 17 日
株式会社 南江堂